

3年ぶりにオールナイト復活！ 「六本木アートナイト 2026」開催決定

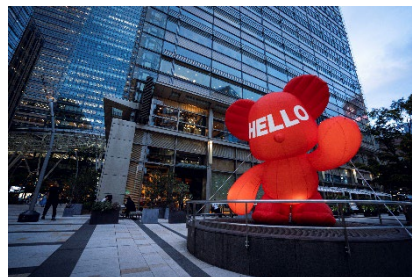
日程：2026年10月31日(土)～11月1日(日)

今年の「RAN Focus」は、白夜祭本場のフランスにフォーカス。

作品公募企画「オープンコール・プロジェクト」応募受付中！

六本木アートナイト実行委員会は、六本木の街を舞台にしたアートの祭典「六本木アートナイト 2026」を、2026年10月31日(土)から11月1日(日)にかけて開催することを決定いたしました。

今年はずいに、日没から夜明けまでアートを楽しむオールナイト開催が3年ぶりに復活します。都市の夜が持つエネルギーを再発見し、深夜のアート巡りやパフォーマンスなど、この夜、この場所でしか味わえない究極の非日常を存分に堪能いただけます。



過去の「六本木アートナイト」開催風景

2009年にスタートした「六本木アートナイト」は、美術館をはじめとする文化施設、大型複合施設、商店街が集積する六本木の街を舞台にした大規模文化イベントです。現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどの多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出すことで、アートを楽しむライフスタイルを提案。東京を代表するアートの祭典として、都市の新たな価値を創造し続けています。

15回目*を迎える今年の注目プログラムは、特定の国・地域に焦点を当て、そこで活躍するアーティストによる作品を披露する「RAN Focus」。今回は「六本木アートナイト」のモデルとなった「ニュー・ブランシュ（白夜祭）」の本場であるフランスにフォーカスし、眠らない街六本木を盛り上げます。六本木が一夜限りの変貌を遂げるアートの饗宴をぜひお見逃しなく！

*2011年は東日本大震災、2020年・2021年はコロナ禍により中止

また、2015年より実施している作品公募企画「オープンコール・プロジェクト」を今年も開催し、現在作品応募受付中です。当プロジェクトは、どなたでも応募可能で、2025年までの11年間に101作品を公開いたしました。「六本木アートナイト」の一部となり、六本木の街の魅力をさらに輝かせる作品のご応募を心よりお待ちしております。

【開催概要】

日 程：2026年10月31日(土)～11月1日(日)

開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

入 場 料：無料（但し、一部のプログラム及び美術館企画展は有料）

主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会（国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合 ※五十音順）

ウェブサイト：<https://roppongiartnight.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

六本木アートナイト広報プロモーション事務局（サニーサイドアップ内）

担当：岩崎（080-4149-8178）、小西（080-7637-4510）、吉野

TEL：03-6894-3200 FAX：03-5413-3050 E-mail：roppongiartnight_pr@ssu.co.jp

今年の「RAN Focus」はフランス

開催回ごとにさまざまな国や地域のアートに注目するプログラム「RAN Focus」。第3回目となる今回は、フランスのアートにフォーカスします。サンキュートル・パリ 前アーティスティック・ディレクター、ジョゼ＝マニュエル・ゴンザルヴェスのキュレーションにより、インスタレーション、映像、パフォーマンスなどをご紹介します。国際的に活躍するベテランから新進気鋭まで参加作家の世代もさまざま、作品もバラエティーに富んでいます。

助 成： アンスティチュ・フランセ パリ本部、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ

キュレーション： ジョゼ＝マニュエル・ゴンザルヴェス

(サンキュートル・パリ 前アーティスティック・ディレクター)

共同制作： CENTQUATRE-PARIS (サンキュートル・パリ)

RAN Focus 協賛： 日本ロレアル株式会社

「オープンコール・プロジェクト」応募受付中

「オープンコール・プロジェクト」は、2015年より実施している作品公募企画で、これまでの11年間で101作品を公開してきました。年齢や経験は一切不問で、どなたでも応募いただけます。六本木アートナイトの一部となり、六本木の街の魅力をさらに輝かせる作品のご応募を心よりお待ちしております。

<オープンコール・プロジェクト 公募概要> ※詳細は応募サイトをご覧ください。

募集内容：

A：パフォーマンス・音楽

B：インスタレーション（屋外の作品展示）

C：映像作品 ※大型スクリーンでの上映に適した作品を推奨します

応募対象者：

「六本木アートナイト 2026」実施期間中に作品を展示あるいは発表できる個人または団体

※年齢・経歴一切不問

募集締切：

2026年5月6日（水）17:00 ※選考結果は2026年6月下旬発表

応募サイト：

<https://roppongiartnight.com/2026/opencall.html>

問い合わせ：

六本木アートナイト 2026 オープンコール・プロジェクト 事務局

メール：opencall@roppongiartnight.com

電話：03-6406-6799（受付時間 平日 11:00～18:00）

【メッセージ：六本木アートナイト実行委員長 片岡真実（森美術館館長）】

日没から夜明けまで、現代アート、パフォーマンス、デザインなどさまざまなアートを体験できる「六本木アートナイト」は、パリの「ニューイ・ブランシュ（白夜祭）」をモデルに2009年に始まりました。2003年の六本木ヒルズ、森美術館の誕生に続き、2007年には国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウンが揃い、六本木は新しいアートの拠点となりました。地域を繋ぐ六本木商店街、周辺に集積したアートギャラリーと共に、アートと文化の街として六本木の価値を発信し続けてきた当イベントは、今年で15回目の大きな節目を迎えます。

2020年に始まったコロナ禍以降、多様な運営モデルを模索するなか、ここ数年は真夜中の開催をしていませんでしたが、今年、皆様の熱いご要望にお応えし、ついに「オールナイト」開催が復活します。暗闇の中でアートと出会い、夜明けを共に迎える。そんな本来の姿へと立ち戻る、一夜限りの濃密な非日常体験をぜひお楽しみください。

今年の「RAN Focus」では、2024年の台湾、2025年の韓国に続き、「ニューイ・ブランシュ（白夜祭）」の本場であるフランスにFocusします。パリの文化センター「CENTQUATRE-PARIS（サンキャトル・パリ）」との共同制作で、ジョゼ＝マニュエル・ゴンザルヴェス（サンキャトル・パリ 前アーティスティック・ディレクター）をFocusのゲストキュレーターに迎え、インスタレーション、映像作品、パフォーマンスなどエスプリの効いた数々の作品を体験できます。さらに日本、台湾をはじめ、さまざまな国と地域から今年も多くのアートが集結します。国境やジャンルを越えて響き合う、創造性の共演にどうぞご期待ください。

「六本木アートナイト」は、東京という大都市の真ん中で、アートをオールナイトで楽しめる最高の時間、年に一度の「都市とアートとミライのお祭り」です。そこからどんなミライが見えて来るのか、一緒に想像してみましょう。

六本木アートナイト実行委員長
片岡真実（森美術館館長）



撮影：新津保建秀